

男性介護ネット通信

No.8
2011.10

ひとりじゃない。
生きる勇気がわいてきた。



2011年10月25発行
「男性介護ネット通信」
通巻8号

発行●
男性介護者と支援者の
全国ネットワーク
<http://dansei-kaigo.jp/>
info@dansei-kaigo.jp

全国にひろがる 仲間や団体のネットワーク



8月から9月にかけて兵庫県、京都府、福岡県、長野県で「男性介護者と支援者の全国ネットワーク」の会員が呼びかけの交流会が開催されました。兵庫県では県下の9つの男性介護者の団体が集まり意見交換しました。京都府では「介護に関わる男性介護者が悩みや制度について考えよう」の呼びかけに37名が集まり、津止正敏立命館大学教授の講演を聞いたり交流をしました。福岡県では2回目の九州ブロック交流会をし、九州各地よ

り31名が集まりました。

このような各地での男性介護者のつどいの広がりや、孤立している介護者への支援が届ききっかけにもなります。小さな団体として活動しているところを全国の仲間とつなげることに繋がります。また男性介護者問題を広く知っていただく機会にもなる活動です。各地の交流会の状況を報告します。



河原千春さん

取材班は「認知症対応社会に向けた8つの提言」を提起しています。『①隠さずに済む社会へ踏み出そう。②断る施設をゼロに③要介護認定を大幅に見直し④情報提供や支援の地域拠点を見直し⑤介護職に教育と支援を⑥かかりつけ医にもつと対応力を⑦社会とつながり続ける環境を整えよう⑧介護の公費負担引き上げ議論を』の8項目です。

八月二十八日(日)、長野県上田市ホテル上田温泉祥園で全国交流会が開催されました。今回は第一部の講演会に、信濃毎日新聞記者の河原千春さんをお迎えし、報道機関の立場から、男性介護者の現状をどう捉えているのかをお話ししていただきました。信濃毎日新聞は平成二十二年一月三日から六月二十九日の約半年間に渡り、キャンペーン報道「笑顔のまま 認知症と長寿社会」を連載しました。取材チームの一員として男性介護者の取材をされたのが河原千春さんです。

男性介護者の苦悩を伝えた記事によって、男性介護者の実態が長野県内に広く知られるようになりましたが、認知症を社会に隠さないために実名報道としたために、取材協力者を探すことに苦労したところ、取材に協力していただいた一人ひとりに対する思いなどをお話ししていただきました。

河原さんは今後も男性介護者についての取材を続けていくと話されていました。第二部リレートークでは、全国から集まった参加者に、体験や現在の思いなどを語っていただきました。荒川会長はじめ、山梨県で活動を始めた葦崎市の会員、介護している父親がいつもしている話を紙芝居で紹介していただいた長野市の会員など、参加者の思いが共有できた集会となりました。

第三部の懇親会では、各地から集まった会員で情報交換が行われ、それぞれの地域での活動に生かしていただけるものと思

います。

取材班は「認知症対応社会に向けた8つの提言」を提起しています。『①隠さずに済む社会へ踏み出そう。②断る施設をゼロに③要介護認定を大幅に見直し④情報提供や支援の地域拠点を見直し⑤介護職に教育と支援を⑥かかりつけ医にもつと対応力を⑦社会とつながり続ける環境を整えよう⑧介護の公費負担引き上げ議論を』の8項目です。

この連載ルポは講談社現代新書から『認知症と長寿社会 笑顔のまま』信濃毎日新聞取材班として出版されています。河原さんは今後も男性介護者についての取材を続けていくと話されていました。第二部リレートークでは、全国から集まった参加者に、体験や現在の思いなどを語っていただきました。荒川会長はじめ、山梨県で活動を始めた葦崎市の会員、介護している父親がいつもしている話を紙芝居で紹介していただいた長野市の会員など、参加者の思いが共有できた集会となりました。

第三部の懇親会では、各地から集まった会員で情報交換が行われ、それぞれの地域での活動に生かしていただけるものと思

長野の活動 NAGANO

●8月28日「男性介護者と支援者の全国ネットワーク交流会」
「全国の男性介護者が
つながり・広がる！」

●8月4日設立集会

男性介護者支援ネットワーク ひょうご設立

孤立しがちな男性介護者と同様、
支援団体も孤立し行き詰まりやすい

男性介護者を支援する団体の設立経緯は各団体によって様々だと思えます。兵庫県の場合はNPO法人、社会福祉協議会、包括支援センター、介護施設などの支援で設立されるケースがほとんどです。立ち上げるまでも大変なのですが、自立し継続するとなると、どうしても代表などの個人的な負担が大きくなりがちです。個人の情熱に依存しすぎると、会の存続が危うくなりかねません。

そんな団体こそ、いっしょになり、励ましあい、共に問題を解決し、男性介護者支援活動をしていけるような機会を早急につくらないと消滅しかねません。特にリーダーの抱える運営や人間関係の悩みを、打ち明ける場が必要だと思えます。



そこで、兵庫県内の男性介護者を支援する団体の

ネットワーク化のために、兵庫県内の社会福祉協議会や地域包括支援センターに男性介護者の会や支援団体の情報を電話で問い合わせ、県内に九団体あるのが分かり、声をかけて参加を要請しました。

支援ネットワークひょうごの設立

平成二十三年八月四日、西宮市の咲咲館に兵庫県内の以下の九団体すべてが参加しました。

- ①コミュニティ広場 咲咲館（西宮市）
- ②男性介護者 きたいの会（伊丹市）
- ③宍粟市男性介護者の会（宍粟市）
- ④つどい場 アンダンテ（たつの市）
- ⑤男性介護者のつどい つむぎの会（神戸市）
- ⑥男性介護者応援団NPOスマイルウェイ（宝塚市）
- ⑦三田市男性介護者の会（三田市・仮称）
- ⑧男性介護者の会テイサー（三木の風（川西市）
- ⑨いどばたサロン（大久保市）

話し合われた内容

- 未だ参加しない男性介護者へのアプローチが難しい。
- ネット電話スカイプ

の勉強会をし、活用したい。●介護している人を亡くした介護者のケアが大事。●他の男性介護者支援団体と情報交換をしていきたい。●講座をしてメンバーの獲得につなげる。●車椅子を押した経験があったが、介護福祉士による車椅子研修がとても参考になった。

（このような研修をこの会で主催したいとの声が上がります）●この団体の存在を男性介護者と支援者に広く認知してもらうために、ケアマネ、民生委員、社協、包括などに配布するチラシを作成。●次の開催は二月。アンダンテで開催決定。

探してみると支援団体が兵庫県内に九団体もあるのに驚きました。当日参加してくれるのか。参加してもどこまで一致できるのか。随分心配しましたが、すべて取り越し苦労でした。皆さん、このようなネットワークができるのを待ち望んでいたように思いました。これから一緒に頑張って男性介護者支援のために頑張りたいことができた、素晴らしい第一回の設立総会でした。

NPO法人スマイルウェイ 代表 西山良孝
ほっこり庵

〒665-0836 宝塚市清荒神一丁目五一五
電話&FAX 0797(26)7818
www.hokkorian.com

●9月3日「第2回九州ブロック交流会」

去年も参加しほっこりできたので、 今年も来ました

台風の接近で風雨の強まる中での開催でしたが、三十一名の男性介護者と支援者が集まりました。

第一部は、各地で開催されている男性介護者のつどいの現状報告をしました。

長崎県の吉開靖之さんは「認知症の人と家族の会」の世話人です。なぜ男性だけのつどいをするようになったかの理由は、①一般の介護者の会は女性が多く、男性は控えめ②男性のみならリラックスして話せ、本音が出せる。女性の前では弱音をみせにくい③男性は社会性に乏しく孤立しやすい、社会との接点の場をもち、いろいろな話が聞ける場が必要、と佐世保市で一年半前より、隔月で始めました。今年の八月からは長崎市でも開催し、参加者は平均で九名ほどだそうです。



吉開靖之さん（長崎県）

次はおなじみの兵庫県のNPO法人スマイルウェイの西山良孝さ

ん。八月四日に開催された兵庫県の男性介護者の会が集まった交流会とほっこり庵のことを話してくださいました。九つの団体が集まり、知らない者が集まりつながること、点が線になり面になることで、より活動を強くしていけると話されました（詳細は次ページ）。また「いつでも行ける場を」と始めた「ほっこり庵」の紹介はDVDでした。映像は、今回の参加した方々に集まることよさを、言葉でない表情を通じて伝え、印象深く心に残りま

した。大分県の鎌田照章さん（認知症の人と家族の会）大分県支部世話人は、つどいでいつも使っている和紙にしたためた進行表をホワイトボードに張っての紹介でした。書かれている内容は「あなたの体験談、不平、不満、愚痴、怒りをはきだしてください」「我より他は皆、師です」などでした。つどいを始めたきっかけは、支部の事務局長より「いつから始めるの」と催促されたことで、どうしようか迷っていたところを背中を押されたそうです。それ



鎌田照章さん（大分県）
左は実際に和紙に書いた進行表

までには、東京の「荒川の会」の荒川不二男さん（当会の代表）のところや、この会の総会などに参加し、情報収集していたそうです。

そのほかにも福岡県の岡村敏治さん（九州ブロック委員）、宮崎県の吉村一隆さん（いずれも「認知症の人と家族の会」支部世話人）が、開催しているつどいの状況を報告しました。

第二部は四つのグループに分かれて交流会をしました。一時間ほどで六名ほどの参加者がそれぞれの介護の現状を語りました。妻や母の異変に気付いた時の様子、困っているのは特に料理でしたが、発想転換した男性介護者は



岡村敏治さん（福岡県）

元々の研究熱心さで、楽しく・健康的な生活へと、課題をクリア

●9月3日開催

京都で37名が交流

「介護する人、全員集合 大集会」
京都市で活動する「男性介護者を支援する会」（代表・山内輝昭さん）が、嵯峨嵐山の大覚寺門跡で、制度への提言や介護の知恵、家族介護に対する思いなどを話し合う介護家族の交流の場をもとと開催しました。

参加者は三十七名。認知症の妻を介護する男性は「妻の喜ぶことをしていきたい」と語り、母親を介護する男性は、要介護度が上がり時間を割かれる中で妻と別れ、転職を重ねている経過を話しました。その後、立命館大学教授の津止正敏さん（当会、事務局長）が男性介護者の実態について講演しました。単身世帯が核家族世帯を上回り、介護者の三分の一を男性が占めている現状、「今後はみんなが介護に携わらねばならない時代」との認識を示しました。また介護者が仕事を失わなくて済むよう就労支援型の介護保険を問題提起。理想的な働き方として、大手デパートを例に、シフト勤務の中で家庭問題があれば時短勤務も選択できる伸縮自在な仕組みが必要と話しました。

（一部9月11日付 京都新聞より転載）

していました。

初参加者は「現在介護している人の話が聞きたくて来ました」と話し、この会のよさを知り入会して帰られました。今回は介護者二四名中、七名の方の入会がありました。

当会の九州ブロック委員の岡村さんは最後のあいさつで、今後の開催に向けて参加者アンケートを実施し、より参加しやすい有意義な会としていきたいと話され、閉会しました。



会員からの お便り



サービス拒否、同じことを言い続ける妻を介護 — 助けてください —

▼Sさん

妻を介護三年目、アルツハイマー認知症、現在中程度で六九歳、身体は丈夫で食欲もあり、二、三分の身繕いは合わせることで済みます。

問題は、着替え・料理・掃除・身体洗い・会話がなりたちません。デイサービスも全く拒否します。

話しての理解はできず、したがって、どうしてほしいのか？ 毎日朝起きると「どうさんなにをするの？」から始まり、「まだ寝ないよ、ずーと起きているよ、なんで寝ないの？」前かけているので、なんでもできるよ、負けないよ！負けてたまるか、寝ないよ！」と一日中繰り返し繰り返してしゃべりまくり、オウム返しに返事しないと「なんで、なんにも言わないの？おかしい、おかしい、なんで？」朝・昼の差。時間差が不明。とにかく待つ、二、三分の待ちがで

きない。

精神科心療にて薬だけの療法で適当なアドバイスがありません。「徘徊、火事、暴力、排せつに気をつけるのみ。治りませんよ」だけです。

助けてください。助言ください。

伯母を 看取りました

▼兵庫県・Nさん 59歳

二〇年来、身元を引き受けてきた伯母が、五月一七日お浄土へ旅立ちました。

享年九三歳。その大部分を施設で過ごし、動けぬ身ながら、穏やかで物静かな性格は誰からも慕われ、看取る時も、主治医の先生から「大往生でしたね」と言っていたきました。

お通夜、葬儀を済ませ、葬儀屋さんやお寺さんから忌明けまでの法要、お納骨、回忌法要などの後、祭事などへと話を進めるうちに、故人を偲ぶ気持ちとは裏腹にお金の算段で頭の中が一杯になりました。心のあり方、表し方でき

え金銭で換算され、また、そうでなければ成り立たない世の中。何か変えよう。

それはさておき、青春、年頃の時期を二度の大戦の中で迎え、大空襲に逃げ惑い、恐怖に怯えながら、幼い妹一人を抱え、自らの婚期を擲ち、親代わりとなって戦中を生き、戦後、OLとして自立するも、倒れた祖父の身を一人引き受け、その最期を見送った伯母。

世間的には、決して幸福な人生だと言われずとも、世の片隅で人知れずひっそりと九三年の生涯を生き切った一人の女性のことを、ここに記しておきたく筆をとりました。喜法光恵信女様、これまでありがとうございました。そしてこれからも見守ってくださいね。合掌

声を出そう

▼兵庫県・Kさん 77歳

後余命を少ししか残していない家内の用事で、忙殺されています。

私どもは如何なる時所を問わず声を上げ、同志の心を癒やし、世間の目に触れ、同情ではなく、理

解をいただける声を出し続ける必要と、使命があると思います。ご活躍の、多くの方を見るに付け、鞭を振れども、無知な者には限界があり、寂しさのみがひしひしと身にしみます。声を出さず、世間の人を無理解と言うことは避けようと思えます。

心の内を話せる 相手がほしい

▼大阪府・Iさん

この三年、認知症の父を介護しています。自分は母を小学生の時に亡くし、姉が近くに住んでいるのですが、家庭を持っている（夫と二人の子）ので、父を見るのは限界があり、実質はほとんど自分ひとりで介護しています。父の介護をめぐって姉と衝突することもしばしばあります。自分はこの二年働いていません。前の仕事の契約を打ち切られて、その後いろいろ探しているのですが、なかなか見つからないし、父の認知症も徐々に進行してきているので、働くこともままならない状況です。そんな悩みを相談でき、心の内を話せる相手がいません。最近介護のスト

男性介護者のつらい 3出席について

▼広島県

レスと疲れて体がつらいです。

八月三日、男性介護者のつらいが、広島市安佐南区総合福祉センターにて行政主催で開催されました。皆様介護の身でありながら二、三名の参加者。また、社会的ニーズもあり、マスコミの複数の取材もありました。助言者として、県介護予防研修相談センターの所長芳谷伸二先生。テーブルを口の字にし一〇名と一名に分かれ自己紹介と現在の介護状況話しあい、その後全体座談会を行いました。

食事の問題、施設（デイサービス、ショートステイ等）への誘導、買い物（特に女性の下着）等への問題等々が出ました。芳谷先生からの確かなアドバイスをいただき、それに頷き、また質問される方もいました。最も印象に残った問題は、高齢の方から「現在、妻は特養に入所して家では自分一人、何を生きがいにしてきたらいいのかわからないことでした。ケアする人のケアの問題です。考えさ

せられました。皆様このような会をひき続いてやってほしいとの要望があり、今後は、行政と打ち合わせをしながら一歩一歩会を進めようと考えています。

震災後、自宅で介護

▼福島県・Tさん 70歳

東日本大震災の後、介護施設側から物資不足などの面から自宅で世話してほしいとの要望があり、要介護4（九六歳）の実母を自宅にて世話しました。

約二週間の期間でしたが、ここで改めて体の不自由なお年寄りの介護に日夜従事している職員の皆様の御苦勞に頭が下がった次第です。心より感謝申し上げます。

（駄作一首）地動くも 季節の巡り誤らず 枝垂桜のつぼみ朱を増す

あきらめることなく 希望を持って

▼福岡県・Hさん 73歳

昨年の九州ブロック交流会、懇談会ではお世話になりました。

その後、西日本新聞社から取材を受け、二月一五日朝刊に私の介護

体験を掲載していただきました。

今年二月には筑紫野市内の生涯学習センターで介護保険課と男女共同参画推進課の共催で「シニアライフ男性介護を考える集い」があり、パネリストとして出席し、介護体験を発表する機会をいただきました。

今、妻は施設と病院を歩きまわっています。正気と狂気の境を漂いながら哀えています。それを直視して悲哀を感じる日々ですが、娘たちや友人たちから支えられ、この困難を乗り越えようと心に決めています。あきらめることなく、希望を持って日々を過ごしています。お礼方々近況報告します。

認知症の人の心が 楽になっていく介護を していこう！

▼奈良県・Iさん 75歳

記憶は消えていっても、消えていかない心の働きを高めていくことで

認知症の人を「どのように介護をしていけばよいか」がわかる本を見つけてきました。「認知症介護はセロトニンで楽になる」（有田修穂著・青春新書）です。言い換えますと、認

知症の人のセロトニン神経（脳内伝達物質）の働きを高めることによつて「認知症の人の心は楽になっていきます」「介護している私たちも楽になります」ということです。具体的には普段から①太陽を浴びながら外で歩きましょう。②楽しく歩きましょう。③楽しく歌いましょう。④手をつないだり、話したり、肩をたたいたりして人とふれあいをしましょう（犬や猫とも）。④椅子に座っている人は、座ったり立ったりしましょう。⑤車椅子の人は、食事の時、トイレ時、椅子に座りましょう。⑥手をつないだり、車椅子で外出しましょう。⑦などです。

認知症の人の心は、介護している私たちと同じように心は働いているのです、一緒に楽しく明らかに笑顔で過ごしましょう。



男性介護本

本の紹介特集

当ネットワークの発刊した「男性介護体験記集」が好評を博していますが、自費出版なども含め、男性介護者の記録集がたくさん出版されています。その一部をご紹介します。



八重子のハミング

陽 信孝 ● 著 小学校文庫 / 定価500円

思いもよらなかった夫婦の同時発病。夫は胃がんが発見され摘出手術。その直後、妻にアルツハイマー病の兆候が見え始めた…。『現代の智恵子抄』とも評された話題の手記。



パパ こんなことさせてわるいねえ 妻を介護した28年

豊島和夫 ● 著 夢企画大地 / 定価1500円

夫39歳、妻36歳、娘4歳のとき突然、妻が脳脊髄炎のため重度身体障害者に。夫の仕事と介護の両立を励まし援助してくれた職場の上司、同僚。愛し合い、支え合い連帯することの素晴らしさを伝え、人権を保障する介護とは、を問いかける。



ママちゃんおはよう

矢野誠一 ● 著 文芸社 定価1260円

アルツハイマーの妻との老老介護の生活に光が射した。訪問介護スタッフとの愛情あふれるチームワークができるまでの、貴重な記録の書。



歌集 沈みし日も弾む日も

遠藤 繁 ● 著 短歌新聞社 定価2625円

妻が倒れ、寝返りもできない身体に…介護の日々を戸惑いながらも懸命に過ごす作者。『静岡県月刊アララギ』への投書をまとめ、介護以前からの作者の半生をまとめた一冊。



脳!梗!栓!

妻と夫の497日+a日

貞光 隆 ● 著 自費制作

脳梗塞で倒れた妻。妻の半生から、施設介護の記録を300ページにわたってつづいた力作。

男性介護者100万人のメッセージ ~第3集~

11月初旬出来

男性介護体験記第3集が完成しました。130通の力作が、男性介護者の「今を」語ります。

ワンポイントアドバイス

男性介護者のための介護編 脱水症予防のための水分を取る方法

今月のアドバイザー 訪問看護師 松村美枝子さん

①水分は、普段は水、お茶、紅茶、コーヒー、ジュースなど何でも良いです。ただし糖尿病のある方はカロリーが少ないものにしなす。

②一日の必要量は、1500~2000ccですが、高齢者や寝たきりの方の場合は、1000~1200ccを目安に、こまめに飲むようにしましょう。薬を飲むときに多めに飲むと薬の吸収にも役立ちます。③発熱や下痢などの時は、塩分も補給する必要があります。水やお茶だけでなくスポーツドリンク(1日500cc位)がお勧めですが、心臓や腎臓に病気になる方は医師に相談してください。また糖尿病のある方や肥満傾向がある方はカロリーの少ないスポーツドリンクにしましょう。

★食欲がない時の献立のヒント

①日ごろ、血圧の高い方などは塩分を取り過ぎないように気をつけて食事の献立や調理をしていると思いますが、汗をかいた時などは、かなりの塩分を失うので食事もいつもよりは塩分を多めにしましょう。たとえば、冷奴や茹でた茄子にかつを節とだし醤油をかけたり、梅干しを使った吸い物、味噌汁も良いですね。②塩分を取りすぎたと思ったら、西瓜や胡瓜など旬の果物や生野菜を食べましょう。含まれているカリウムが尿と一緒に排出してくれます。③蛋白質やミネラルも重要です。うなぎや豚肉を食べましょう。うなぎは苦手という方は、細かく切ってご飯の上のせ、薬味(みじん切り)のねぎや大葉、茗荷、海苔、胡麻、わさびなどをのせ、出し(湯のみ)一杯の湯に小さじ一杯の出しの素を入れよく混ぜる)をかけ、茶漬け風にする、さっぱりと食べられます。豚肉はしゃぶしゃぶにして千切りの野菜(レタス、胡瓜、玉ねぎ、みず菜など)と一緒にポン酢で食べると余分な油も落ちて食べやすいです。薬味や野菜からミネラルも取れます。

俺流の介護



皆さんの介護体験から生まれた 十人十色の介護ノウハウの 共通コーナーです

河野丈太郎

宮崎県

「妻の尊厳を守り、やさしさを積み上げる」

妻七三歳、自分七二歳、平成二三年一月にアルツハイマー病と診断され現在二一年目となり、要介護4です。初期の三年間は介護する等とは全く無知で徘徊に二四時間振り回されてきました。その後、県外の専門病院でケアの重要性を教わり、介護の大切さ重要性を認識しましたが、この時点では全く意味のない自己流で病気の進行を早めたのではな

いかと自己反省があります。 ●病気をオープンにする 効能は高い

徘徊が多くなり二四時間の見守り、介護者は眠れない日が続きました。家の出入り口の施錠を工夫したり、ベルの取り付けなど気休めの対処もしました。 初めは人に知られたくないとの気持ちから、妻が外出すると気が気ではありませんで

した。気苦労は大変なものでありました。このままでは大変なことになると思い、思いきって近所の方々と集いの場で実情を話し、協力をお願いしました。快くOKで、以後妻への声かけ、見守りなどの情報が入り込んでくるようになりまし。親戚、地域お付き合いの方々にも病気をオープンにしたことでテレビ、新聞等でも取材があり、広く知られることになり、妻の笑顔が一段と光ってました。 ●妻に旅行をプレゼント

結婚以来、新婚旅行、夫婦での旅行はしたことがありませんでした。病気の宣告を受けて、妻が喜べるうちに旅行をさせたいと考えました。大変申し訳ないと考え、合意の上で実行するに至りました。毎年一〜二回の国内旅行に始まり、海外旅行まで広がって

いきました。最初は特段に問題もありませんでしたが、次第に病気が進行するにつれ、食事・失禁・歩行、最近では言葉(失語)のため簡単ではなくなりましたが、楽しい旅行を続けることで、旅先で妻の笑顔が出ると苦勞も消えて自分もよい人生を楽しんでいくことを実感できます。

●認知症の理解者は笑顔が素晴らしい

日帰り旅行では美しい花園を見学する自家用車で走る、「認知症の人と家族の会」の全国総会や全国研究集会、九州ブロック会議や男性介護者ネット総会などに出席するのも参加者のよき理解で笑顔がよく、声かけしてもらえるところがあります。特にテレビ取材などではディレクターが笑顔で問かけられるので、妻も一段と笑顔が明るくなり心えるようにしてました。

●介護は妻本人のためにしている

尊厳を忘れずに、一方的な

ものにならないようにすべきといつも考えて介護の勉強をしています。妻に苦痛を与えない工夫を考えています。 近年は寝たきり防止、転倒防止、歩行に工夫しています。歩行器を使ったり、早歩き、ステップアップ運動、電動ウォーカーなどで体力維持に努めています。

●介護者の健康は基本である

高齢化と共に体調が変化し通院も多くなり心配になります。健康でないと介護はできませんし、腰も痛めやすいです。妻の減量も順調に達成できています。妻の笑顔がなにより生きがいになるので、自分の体調にも気を配り、努めて笑顔をさそう介護術、見守り、話術、ジョークなどの時間をとっています。スキンケアは大きな力を発揮してくれ、よく使った手法であります。 これからも二人の楽しい人生を永く続けていきます



北海道
北海道男性介護者と支援者のつどい→小番一弘
☎011-827-1383

宮城
認知症の人と家族の会●男性介護者のつどい→
みやぎNPOプラザ/宮城県支部 ☎022-263-5091

福島
認知症の人と家族の会●男性介護者のつどい→
福島県支部 ☎022-263-5091

東京
荒川区おやじの会●男性介護者サロンM→荒川
区社会福祉協議会内 ☎03-3802-3338

長野 毎月第1・(土)
シルバーバックの会●男性介護者ミーティング
→上田市/シルバーバックの会 ☎0268-72-8039

毎月第2・(土)
シルバーバックの会●男性介護者ミーティング
→小諸市/シルバーバックの会 ☎0268-72-8039

富山
認知症の人と家族の会●男性介護者のつどい→
富山県支部 ☎076-441-8998

兵庫
NPO法人スマイルウェイ●小林よりあいひろば
「のんびり倶楽部」→宝塚市小林3丁目-22 /ス
マイルウェイ ☎0797-62-9320

NPO法人スマイルウェイ●カ湯「のんびり倶楽
部」→伊丹市伊丹3丁目2-2 /スマイルウェイ
☎0797-62-9320

NPO法人スマイルウェイ●ふれあい鹿塩の家
「のんびり倶楽部」→宝塚市鹿塩1-9-28 /スマ
イルウェイ ☎0797-62-9320

NPO法人スマイルウェイ●大東市アクロス「陽
だまりサロン」→大東市末広町1-301 ローレ

ルスクエア住道サンタワー/スマイルウェイ ☎
0797-62-9320

NPO法人スマイルウェイ●住吉区「ほっこりサ
ロン」→大阪市住吉区南住吉3-15-55 住吉区民
センター/スマイルウェイ ☎0797-62-9320

NPO法人スマイルウェイ●三田市男性介護者の
会→三田市川除675 総合福祉保健センター/ス
マイルウェイ ☎0797-62-9320

毎月第1・(金)
伊丹市 きたいの会●交流会→伊丹市立地域福祉
総合センター/伊丹市社会福祉協議会内・代表:
田中利明 ☎072-779-8512

毎月第4・(金)
宍粟市 男性介護者の会●交流会→宍粟防災セン
ター会議室/宍粟市社会福祉協議会山崎支部・
代表:中野剛志 ☎0790-62-5530

毎月第4・(金)
大東市介護者家族の会(サルビアの会)●代表:
吉原英男 ☎072-874-2219

滋賀 偶数月第4・(土) AM10:00~PM2:00
認知症の人と家族の会●男性介護者のつどい→滋
賀県支部(担当:小宮俊昭) ☎077-567-4565

京都 12月3日(土) PM1:00~3:30
認知症の人と家族の会●男性介護者のつどい(偶
数月第1・(土)実施)→京都社会福祉会館/京都
府支部 ☎075-811-8399

毎月第2・(水) AM11:30~PM2:00
男性介護者を支援する会●男性介護者のつどい
TOTO→喫茶「ほっとはあと」(西大路御池西北
側)/代表:山内輝昭 ☎075-882-2256

岡山
男性介護者の会●男性介護者のつどい→代表:
江川敏雄 ☎086-201-1744

鳥取
認知症の人と家族の会●男性介護者のつどい→
☎0859-37-6611

大分
認知症の人と家族の会●男性介護者のつどい→

いきいき健康館/大分県支部(担当:鎌田照章)
☎097-552-6897

長崎 毎月第2・(火) PM1:30~3:30
認知症の人と家族の会●男性介護者のつどい→
させほ市民活動交流プラザ/長崎県支部(担当:
吉開靖之) ☎095-842-3590

宮崎 12月4日(日)
認知症の人と家族の会●男性介護者のつどい→
させほ市民活動交流プラザ/宮崎県支部(担当:
河野丈一郎) ☎097-552-6897

福岡 11月2日(水) PM1:30~3:30
認知症の人と家族の会●男性介護者のつどい→
福岡市民プラザ/福岡県支部(担当:岡村敏治)
☎097-552-6897



募集

男性介護通信では
「つどい」情報をお待ち
しています。



全国の男性介護者の集いの情報を募集
しています。過去のつどいの実績やこれ
からの予定など下記アドレスまでお知ら
せ下さい。通信とホームページに掲載い
たします。

E-mail: info@dansei-kaigo.jp

- ①都道府県、②日時、③名称→場所、
 - ④連絡先をお書き下さい。
- 各都道府県で複数ある場合は日付の古い
順でご記入下さい。

会員のみなさまへ寄付のお願い

男性介護ネットは、発足2年目で会員数500名を超える
団体へと飛躍的に拡大しました。今後もより積極的な活動
を進めていきたいと考えております。ぜひ皆様のご支援を
お願いいたします。会費納入と併せて寄付にもご協力い
ただければ幸いです。

■会員の種別と年会費

正会員(個人)	正会員(団体)	賛助会員
一口1,000円	一口3,000円	一口10,000円

■振込先 郵便局 00910-4-194420
男性介護者と支援者の全国ネットワーク

後編集

Vol. 8

八月二十八日に長野で、男性介護者
と支援者の全国ネットワーク交流会
が開催されました。参加人数は三五
名と少なかったのですが、隣の山梨
県からの参加も頂きました。五〇歳
台の仕事と介護の問題を抱えた介護
者の方々の参加もあり、当日のリレ
トークでは勇気がなく話せなかつた
がと、翌日の上田市での男性介護者
グループにいられた方もいました。
今回は準備の時間も十分に取れず
広報が不十分だったと反省していま
す。来年のことを今から言っては鬼
も大笑いですが、この一年間で県内
近隣のネットワークをつなげ、来年
の交流会は合同での企画運営にし
たいと思っています。近県の方!! ぜ
ひ一緒に。

(副代表 望月裕子)

